

山内地区老人クラブ連合会について

会長 飯島邦夫

山内地区には13の単位クラブがありまして、総勢987名で、男性が393名・女性が593名の会員で現在活動しております。

主な行事は次の様な内容です。

- ①月1回の定例会 ②市・区老連の連絡事項伝達 ③市・区老連の行事に参加
- ④旅行会の実施（日帰り旅行を年5～6回） ⑤各種団体主催の行事に参加

各単位クラブでは友愛活動、教養、趣味、スポーツ等多種多様な活動を実施、又、地域との関わりを持ち色々の催しに参加しております。

現在、横浜市におきましても、会員の数、又クラブ数の減少が目立っております。

これはクラブ会員が高齢化のため、役員を引き受ける人が少ないのも一つの原因のようです。

これからの課題はいかに会員を増やすかではないかと思ひます。

高齢化社会におきまして、老人クラブの役割は非常に高いと思ひます。

従って老人クラブとしましては、消極的になりがちな高齢者の意欲を引き出し、自己表現出来るように務めたいと思ひます。

又、会員の引きこもりをなくし「会員それぞれの生活を豊かにする楽しい活動」及び「地域を豊かにする活動」を、相互に関わりを持ちながら取り組みたいと思ひます。

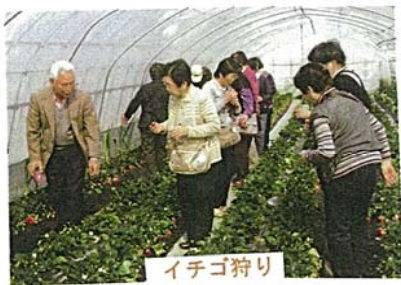
女性の会員は比較的多いのですが、男性がいまひとつ少ないのが現状です。

出来るだけ多くの方が参加して頂く様、勧誘したいと思ひます。

今までサラリーマンをして来られた方は「なんだ老人会か、そんなに歳は取ってないよ」とか言われますがそう言う方こそやる事が無くテレビを見ながらうたた寝と言う毎日で、認知症「属にボケ」になってしまうそうです。

老人クラブは第二の人生と思ひ、全ての方は皆平等です。上下の隔たりはありません、皆様のお傍にそのような方がおられましたら、是非「近くに老人クラブと言うものがあるから参加してみても」と声を掛けて下さいますようお願い致します。

今後、いつでも誰でも参加し易い老人クラブとして行きたいと思ひます、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



会長 吉村 茂

青葉区では平成24年(2012年)7月1日現在、16の地区民児協があり、285名の民生委員が委嘱を受けております。

文献によりますと、昭和44年(1969年)10月、この山内地区は港北区から緑区に区分し、充足した緑区民児協の数は、中里・田奈・山内の3地区合計37名でした。

当時の山内地区の民生委員は元石川で3名・荏田で2名の計5名であったと印されております。(昔は元石川と荏田は同一で山内地区と呼ばれていた)

又、山内地区から、美しが丘、山内第二(現在の荏田)、すすき野、山内北部と、宅地開発が進み人口の増加と共に分割をして発展して来た地区であります。当時は現在の会長は総務、副会長が副総務と呼ばれていました。

現在の山内北部地区民児協のご報告を致しますと、推薦母体は美しが丘西保木・美しが丘四丁目北・南・元石川平川・元石川船頭・荏子田・あざみ野三丁目・あざみ野団地の8自治会より推薦された24名の民生委員と、山内連合自治会より推薦された2名の主任児童委員の計26名にて構成されております。

主な活動は定例会を年10回開催し、情報連絡、報告、意見交換等をする。「ふれあい見守り事業」

高齢者の一人暮らし、高齢者世帯、認知症や寝たきり世帯の訪問や安否確認を月1回以上行う。

「青葉区災害時要援護者避難システム(支えあいカードの作成)」緊急時にお一人で避難が困難な方々を安全に避難誘導をする。

「一人暮らし高齢者地域見守り推進事業」孤独死・孤立死等の防止をする為、行政・包括支援センターとの情報を共有し密に探り未然に防止する。

「子育て山内ひろば、あざみ野駅頭での共同募金活動、年末たすけあい募金の協力等」赤やちゃんからお年寄り迄の皆様方のお手伝いを今後も続けてまいります。

民生委員児童委員には守秘義務が有ります。皆さんの秘密は守ります!地域の身近な相談相手として何時でも気軽に声をかけ下さい。

あなたのそばに 民生委員児童委員・主任児童委員

